



株式会社スコヒアファーマ

2020年12月23日

エンテロペプチダーゼ阻害薬(SCO-792)の前臨床試験に関する論文掲載について;
SCO-792 は慢性腎臓病モデルで治療効果を示す

株式会社スコヒアファーマの研究グループはエンテロペプチダーゼ阻害薬である SCO-792 が慢性腎不全モデルで治療効果を発揮することを明らかにしました。この研究成果は「*Nephrology Dialysis Transplantation*」でオンライン公開されました。

論文名

Enteropeptidase inhibitor SCO-792 effectively prevents kidney function decline and fibrosis in a rat model of chronic kidney disease

<https://doi.org/10.1093/ndt/gfaa349>

エンテロペプチダーゼは十二指腸に局限して存在する酵素であり、タンパク質の消化吸収に主要な役割を有しています。これまでに、我々はエンテロペプチダーゼ阻害剤である SCO-792 がラットの糖尿病性腎臓病に治療学的な有効性を示すことを報告してきました ([Link](#))。今回の報告において、我々は SCO-792 が非糖尿病性の慢性腎臓病モデルにおいても治療効果を発揮することを明らかにしました。エンテロペプチダーゼ阻害薬である SCO-792 を非糖尿病の慢性腎臓病のラットに投与したところ、糸球体濾過量 (GFR) の低下を強力に抑制し、尿アルブミンレベルを低下させました*。

さらに SCO-792 は本モデルの糸球体硬化症および腎線維症を改善しました。これらの結果は SCO-792 が慢性腎臓病の新しい治療戦略になる可能性を示しています。

*糸球体濾過量の低下や尿アルブミンレベルの上昇は腎機能障害のマーカーです。

以上

本件に関するお問い合わせ先

info@scohia.com